12" Active Subwoofer System

L8400P

取扱説明書

この度は JBL L8400P アクティブサブウーファーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
L8400P は、世界中の映画館で活躍する JBL のプロ用シアターシステムのノウハウを注ぎ込んだサブウーファーで、JBL の中大型スピーカーシステムとの組み合わせに最適な特性と音色を持つアクティブ型サブウーファーシステムです。本製品をより良く理解していただき正しくお使いいただくために、ご使用前にこの説明書を最後までお読みください。

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社

JBL

１：　開　梱　に　あ　た　っ　て

外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じますが、万一損傷や故障がみとめられた場合は直ちにお買い上げ店にご連絡ください。
カートンボックス側面に保証書が添付されていますので内容をご確認の上、大切に保管してください。
オリジナル・カートンボックスは、緩衝材なども含め開梱後もそのままお手元に保管することをお勧めします。修理などのため本体を輸送されるような場合、オリジナル・カートンボックス以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じても、責任を負いかねますのでご注意ください。

２．　保　証　に　つ　い　て

保証書は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧ください。
誤った使用に起因した故障などに伴うアフターサービスは、保障期間の有無にかかわらず有償となります。
また、送料はお客様負担となりますのでご了承ください。

３：　設　置　に　つ　い　て

●本機にはスピーカー外部への磁気の漏洩を抑えるための防磁処理は施されていません。テレビなどの受像機とスピーカーが近接している場合、テレビ画面に磁気の影響による色むらが発生する場合があります。この場合はスピーカーシステムをテレビから離して設置してください。
●スピーカーシステムは、再生する音の大きさに比例して、本体も振動をします。設置場所に傾斜があると、振動によりスピーカーが移動する恐れがありますので、必ず水平で平坦な箇所に設置してください。また、振動が伝わることによりスピーカー近くに置いたラックなどが共鳴する場合があります。このような時は、ラックにゴムやコルクなどの振動吸収材を敷くことをお勧めします。
●温度、湿度、紫外線などの影響で寿命を縮める恐れがありますので、設置の際は照明器具の強い光りや直射日光を避け、エアコンの吹き出し口やストーブなどの近くなど、高温になる場所を避けてご使用ください。また、車両内や直射日光の当たる窓際への設置はご遠慮ください。

≪セッティング≫
サブウーファーの扱う低音域は音の方向性を感じさせる指向性が弱いため、サブウーファーを置く場所は比較的自由に選定できますが、切れの良い明確な低音域を得るためにはできるだけ前方のメインスピーカーの近くに置き、しっかりとリスナーに向けてセッティングをしてください。また、部屋のコーナー近くに置くことで低域レベルをさらに高めることも出来ますが、逆に低域明瞭度が低下する恐れもあります。様々なソースを再生しながらベストポジションを探ってください。

４：　接　続　と　操　作

本機の接続および操作機能は、すべて本体背面に装備されています。次ページの背面図を参照の上、接続、操作を行ってください。

≪注意≫
接続の際は、必ず電源を切ってから作業を行ってください。電源を入れたまま接続を行うとアンプやスピーカーを破損する恐れがあります。

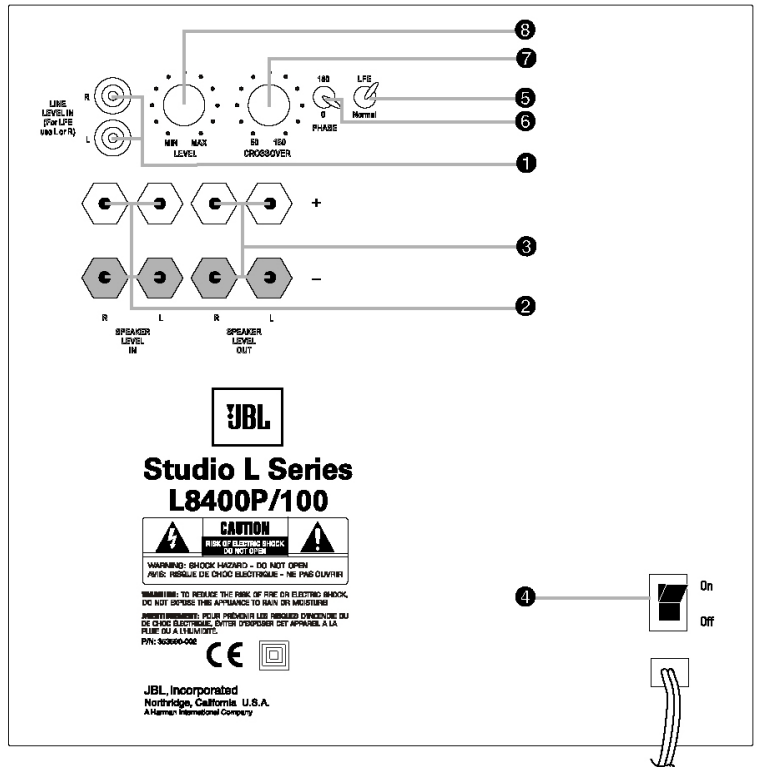
≪電源ケーブルの接続≫
電源ケーブル上部にあるメインパワースイッチ④がオフ(Off)の位置にあることを確認した上で、電源ケーブルのプラグを壁のコンセントに接続してください。

≪入出力端子の接続≫
本機の入力端子には、RCA タイプのラインレベル入力端子とスピーカーターミナルを用いたスピーカーレベル入力端子を装備しています。接続する機器に適合する端子を選んでご使用ください。
①ラインレベル入力端子
(LINE LEVEL IN)
接続するアンプに RCA プラグを用いたサブウーファー用出力端子がある場合は、市販の RCA ケーブルを

用いてラインレベル入力端子に接続してください。

②スピーカーレベル入力端子（SPEAKER LEVEL IN）
接続するアンプにスピーカー端子によるサブウーファー出力しかない場合は､市販のスピーカーケーブルを用いて本機のスピーカーレベル入力端子に接続してください。

③スピーカーレベル出力端子（SPEAKER LEVEL OUT）
接続するアンプにサブウーファー用出力端子が無い場合は､スピーカーケーブルを使用してアンプのスピーカー接続端子と本機のスピーカーレベル入力端子②とを接続し､さらに本機のスピーカーレベル出力端子③にスピーカーを接続します。

●本機の入出力端子は、“L”表示が左チャンネル用、“R”表示が右チャンネル用端子です｡アンプのサブウーファー用出力端子が一つしかない場合（LFE 出力またはモノラル出力）は、L/R どちらか一方の端子に接続してください。その際、空いている端子には何も接続しないでください。

≪**操作**≫
本機のリアパネルには、以下の機能が装備されています。

④メインパワースイッチ（On/Off）
本機のメイン電源のオン/オフを行います。メイン電源スイッチをオンにすると、本機はスタンバイ状態となり天板のインジケーターが赤く点灯します。本機にはオートパワー回路が搭載されており、入力端子に入力信号が入ると、本機は自動的に動作状態となりインジケーターがグリーンに点灯します。入力信号が途絶えると、約５分後にスタンバイ状態になります。

> **≪注意≫**
> 本機のオートパワー回路では、電源を完全に切ることはできません。電源を完全に切るには、背面のメインスイッチ①をオフ（Off）にしてください。
> また、長期に渡り外出されるような場合は、メイン電源を切り、壁のコンセントから電源プラグを抜き取ってください。

⑤入力モードスイッチ（LFE/Normal）
オーディオ用プリメインアンプなどを使用し、サブウーファーの再生する帯域を本機側でコントロールする場合は、入力モードスイッチをノーマル（Normal）モードにします。これにより、クロスオーバー・コントロールノブでサブウーファーの高域再生周波数を調整できます。AV アンプなどを使用し、再生帯域をアンプ側で設定して使用する場合には、LFE モードにします。LFE モードでは、必ず AV アンプのサブウーファー用クロスオーバーをオンにし、使用帯域を制限してご使用ください。

⑥フェーズスイッチ（PHASE:0°/180°）
メインスピーカーとサブウーファーとの位置関係に起因して起こる低域の位相干渉を避けるための、位相反転スイッチです。0°でメインスピーカーに対し正相に、180°で逆相に出力されます。リスニングポジションにおいて低域の量感が豊かに自然に聴こえるポジションを選択してください。

⑦クロスオーバーコントロール（CROSSOVER:50Hz～150Hz）
入力モードスイッチがノーマルインプット・モードにある時、クロスオーバー・コントロールノブの操作によりサブウーファーの高域側再生周波数を 50Hz～150Hz の範囲で調整できます。THX やこれに準じたシステムで再生を行う場合には、80Hz を基準に調整を行ってください。

⑧レベル調整（LEVEL:MIN～MAX）
サブウーファーの出力レベルのコントロールを行います。AV アンプのサブウーファー用レベルコントロール機能と併用することで、幅広いシステムとマッチングを図ることができます。

５： ＡＶアンプの出力設定

AV アンプのサブウーファー用出力をご使用になる場合には、これらの機器の取扱説明書を参照して、サブウーファー出力の設定を行ってください。サブウーファーのクロスオーバー(ローパス)周波数の設定ができるアンプをご使用の場合は、80Hz を標準として組み合わせるメインスピーカーの再生能力とのバランスによって調整してください。

６： レベル調整

サブウーファーと他のスピーカーとの再生音量は、チャンネル毎のアンプの入出力ゲイン(利得)や、それぞれのスピーカーの能率(出力音圧レベル)、インピーダンスなどのスペックの違い、さらに壁や床面との距離など設置場所の環境の違いにより、すべて異なります。一体感のあるシステム構成のために、お手持ちのＡＶアンプの説明に従い、各チャンネルの音量レベルの調整を必ず行ってください。

７： グリルの取り外し

当機は出荷時にグリルが装着されています。グリルを取り外す際は、グリルの上下、左右を少しずつ引っ張り、徐々に外してください。一箇所から無理に引っ張ると、グリル固定ピンを破損する恐れがあります。グリルの目的は埃等からのユニットの保護です。必要によって取り外し、取り付けを行ってください。

８： 保守

●お手入れの際には乾いた布でキャビネット表面を掃くようにしてホコリを取り除いてください。湿った布やクリーニング・ペーパーなどを使用するとキャビネット表面のツヤが落ちることがあります。ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の液体で拭いたり近くで殺虫剤を散布したりしないでください。
●グリルネットにホコリなどが付着した場合は、電気掃除機を使用してホコリを吸い取ってください。
その際、強く吸いすぎないよう掃除機の強さを調整してください。また、グリルを水洗いしないでください。グリルに色むらやたるみが発生する場合があります。
●スピーカーのユニット表面にホコリが付いたときは、柔らかく乾いた筆や刷毛などを利用して丁寧にホコリを払ってください。濡れた雑巾などは絶対に使用しないでください。
●スピーカーシステムは耐久消費財です。特にコーン紙のはげしい動きを支えるウーファーのエッジ部には多くのストレスがかかるため、その実用対応年数には限りがあります。また、温度、湿度、紫外線などの影響で寿命を縮める恐れがありますので、照明器具の強い光や直射日光を避け、エアコンの吹き出し口やストーブなどの近くを避けてご使用ください。

９： 仕様

形式	アクティブ・サブウーファー
使用ユニット	300mm 径ポリプラスコーン・ウーファー
パワーアンプ出力	600W(RMS)/1,200W(Peak)
周波数特性	22Hz～fc(クロスオーバー周波数)
クロスオーバー周波数(fc)	50Hz～150Hz(連続可変)
寸法（幅×高さ×奥行き）	394×419×394mm(脚部を含まず)
重量	26.4kg

※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社
商品に関するお問い合わせは、弊社ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ部 ☎ 03(3836)5660 まで

※修理に関するお問い合わせは、下記東京サービスセンターまでご連絡ください。
東京サービスセンター :〒135-0033 東京都江東区深川 1-6-29 結城運輸倉庫㈱内 ☎ 03 (5639) 3011
本社営業部 :〒110-0005 東京都台東区上野 5-7-7 公徳堂ビル ☎ 03 (3836) 5641
大阪営業所 :〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-12-15 双葉ビル 602 号 ☎ 06 (6301) 1396
福岡営業所 :〒816-0844 福岡県春日市大字上白水 418-4 第２金信コーポ 1F ☎ 092 (573) 2023
MKT.2K5.11.01